

各教科及び道徳	学習状況	指導上の課題	改善の計画	評価の方法
国語科	音読、読書、漢字練習に意欲的に取り組んでいる。登場人物の気持ちを考えて読むことや、考えたことを表現することを意識しながら取り組んでいる。	①文章を正しく音読したり、叙述から内容を正しく理解したりすること。 ②事柄の順序や大事なことを聞き落とさず、正しく分かりやすく書くこと。	①時間的な順序や、事柄の順序が分かる言葉に着目して読み進めることを指導する。 ②題材を決め、必要な事柄を集め、簡単な組み立てを考えながらマス目の用紙に文章を書く学習過程を設定する。	発表内容やノートの記述、ワークシート、作文等から評価する。 評価テストを活用して、学習内容の定着を確認する。
算数科	基礎コースでは、学習内容を確実に習熟できるよう、教科書の例題に取り組んでいる。発展コースでは、自分の考えをもち、交流の場で自己の考えを発信できるよう取り組んでいる。	①文章題を正しく読み、演算決定し、正確に立式すること。 ②時計を読んだり、時刻、時間を計算で求めたりすること。 ③長さやかさの量感をつかむこと。単位関係を整理し、適切な単位の選択ができること。	①文章題の大切な部分に印をつけたり、学習者用端末を活用して図に表し、場面を整理したりしながら立式するように指導する。 ②日常的に時計を読んだり、時間を考えたりする場を設定する。 ③実際に長さやかさを計測する算数的活動を取り入れる。	単元ごとに、ノートの内容や発言等を通して評価する。 評価テストを活用して、学習内容の定着度を確認する。
生活科	自分たちが「したい!」「やってみたい!」と感じたことに興味をもって調べたり考えたりしている。観察したことを言葉や絵で表現しようとしている。	①主体的に課題に取り組み、気付きを広げていくこと。 ②記録カードなどへ整理してまとめること。	①児童の活動意欲を大切にし、児童自身が見通しをもって活動できるように課題の設定を工夫する。 ②記録カードなどへの表現の仕方や工夫は、学習者用端末を活用したり、他教科との関連を図ったりして、指導の効果を高めるようにする。	観察の仕方や活動の様子、記録カードへの表現（絵や文）を通して評価する。
音楽科	意欲的に音楽活動に取り組んでいる。リズムに合わせて体を動かす活動で、楽しんでいる。	①拍にのって歌ったり、演奏したり、音遊びしたりすること。 ②楽器や演奏の仕方の違いに気を付けること。	①歌唱や体や楽器によるリズム打ちなどを通して、リズム感を育てる。 ②様々な音を楽しみ、曲調によってイメージを膨らませる。	活動の様子、発言内容、ワークシート、発表などを通して評価する。
図画工作科	友達と楽しく関わり合いながら楽しく造形活動に取り組んでいる。	①感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。 ②材料や用具の基本的な扱いを身に付けること。	①授業の導入や活動の途中で、互いの考えを共有したり、制作過程の作品を鑑賞したりする時間をつくる。 ②材料や用具の正しい使い方や特徴についてスモールステップで丁寧に指導する。慣れるように繰り返し練習させる。学習補助員を活用して個別指導を充実させる。	活動の様子・発言・作品などを通して評価する。
体育科	関心・意欲をもち、自ら活動に取り組んでいる。かけっこ・表現リズム遊び等、意欲的に活動している。	①きまりを守って、仲良く運動すること。 ②運動の日常化につながるような指導をすること。	①ルールを守って運動することの意義を指導し、全員が楽しく安全に運動できる環境を整える。 ②固定施設や器具を使った運動遊びに親しむように活動を工夫する。	活動の様子や発言、児童の自己評価、学習カードの内容等を通して評価する。
道徳	登場人物の気持ちに共感することを通して、道徳的心情・態度を養っている。	道徳的価値の理解、人間理解、他者理解について深めていくよう指導の工夫をすること。	教材を吟味し、児童の実態に応じてねらいを明確にすること。また、自己について深く考えられるよう、発問の厳選をしたり、児童の考えを揺さぶったりしながら、学級全体での話し合い活動を充実させていく。	自分の考えやその変容などを、ワークシートの記述や発表の内容で評価する。